

**令和6年度
かごしま青少年海外研修事業報告資料**

参加募集用チラシ（表）



さあ、鹿児島から世界へ！



令和6年度かごしま青少年海外研修事業

参加者募集

台北 4日間

11月19日(火)発

香港 4日間

12月3日(火)発

募集期間

令和6年

9月5日(木)

まで

**国際的な視野を持ち、
鹿児島から新たな一歩を踏み出す。**

目的

アジア経済圏の主要都市である香港、台北の企業視察や、研修地域の若い企業人等との交流を通して、国際的な視野を持ったリーダーの育成を図ります。

対象者・募集人数

各コース 10名

参加費用（おとな1名様）

各コース 50,000円

※鹿児島県内の概ね18歳から30歳代前半の方

燃油サーチャージ、空港諸税、空港施設使用料等は含まれます。

応募資格

- (1) 鹿児島県内に居住、又は鹿児島県に所在する企業等に勤務する方で、引き続き鹿児島県内に居住、又は勤務しようとする概ね18歳以上30歳代前半までの方。
※ただし県外に進学している県出身の学生で、将来的に県内に勤務しようとする方も含みます。
- (2) 研修で得られた知識や経験を、その後の鹿児島県での生活又は仕事に活かす意欲を有し、帰国後に研修成果を発表できる方。
- (3) 事業終了後も、研修参加者や研修先等とのネットワークの維持に努めるとともに、必要に応じて、次年度以降の研修参加者へのアドバイスをを行うなど、本事業の取組に協力できる方。

参加者の決定

令和6年9月20日(金)頃を予定



応募方法

鹿児島県のホームページ(<https://www.pref.kagoshima.jp/ab14/r6bosyu.html>)より応募書類をダウンロード・作成の上、参加申込フォームよりお申込みください。
※お申込みの際は、県HPに掲載している「参加者募集要領」を必ずご確認ください。

【県HP】



参加募集用チラシ（裏）



研修について

※事前・事後研修、報告会は原則として集合研修としますが、会場での参加が困難と認められた場合はオンラインでの参加も可能です。

日時(予定)	研修	内容(予定) ※変更になる場合もあります
2024年(令和6年) ①10月5日(土) ②10月19日(土)	事前研修 ①台北 ②香港	《集合開催》 サンプラザ天文館（鹿児島市東千石町2-30）予定 《内容》・事業概要説明・集合研修（セミナー等）・グループワークなど
2024年(令和6年) ①11月19日(火)発 ②12月 3日(火)発 ※いずれも3泊4日	本研修 ①台北 ②香港	《現地派遣》 行程の概要は下記をご参照ください（添乗員同行） 《内容》・グループごとに現地企業視察（個別研修） ※視察先は幅広い分野の企業から選定 ・個人ごとに計画した自由視察（個人研修） ・現地若手企業人等との意見交換会 など
2024年(令和6年) 12月21日(土)	事後研修	《集合開催》 サンプラザ天文館（鹿児島市東千石町2-30）予定 《内容》・グループワーク（本研修の振り返り、報告書の作成）など
2025年(令和7年) 1月25日(土)	報告会	《集合開催》 サンプラザ天文館（鹿児島市東千石町2-30）予定 《内容》 研修成果の発表、共有 など



本研修の日程

台北 11月19日(火)発

日程	行程・研修内容等	食事
11/19 (火)	鹿児島空港 12:05発 ⇒ 台北 13:35着 現地若手企業人等との意見交換会	朝:- 昼:- 夕:○
11/20 (水)	《終日》 グループごとに分かれて企業を視察する 個別研修など	朝:○ 昼:- 夕:-
11/21 (木)	《終日》 参加者自身が独自に研修内容を計画する 個人研修など	朝:○ 昼:- 夕:-
11/22 (金)	台北 16:25発 ⇒ 福岡空港 19:35着 博多駅 ⇒ 鹿児島中央駅	朝:○ 昼:- 夕:-

※行程、内容等は変更になる場合もございます。

- 利用予定航空会社:チャイナエアライン ●添乗員:同行します
- 宿泊:グリーンワールド台北駅又は同等クラスのホテル(2名1室)
- 食事:朝食3回、昼食0回、夕食1回

香港 12月3日(火)発

日程	行程・研修内容等	食事
12/3 (火)	鹿児島中央駅 ⇒ 博多駅 福岡空港 12:55発 ⇒ 香港 15:00着 現地若手企業人等との意見交換会	朝:- 昼:- 夕:○
12/4 (水)	《終日》 グループごとに分かれて企業を視察する 個別研修など	朝:○ 昼:- 夕:-
12/5 (木)	《終日》 参加者自身が独自に研修内容を計画する 個人研修など	朝:○ 昼:- 夕:-
12/6 (金)	香港 12:55発 ⇒ 福岡空港 17:05着 博多駅 ⇒ 鹿児島中央駅	朝:○ 昼:- 夕:-

※行程、内容等は変更になる場合もございます。

- 利用予定航空会社:香港エクスプレス ●添乗員:同行します
- 宿泊:BPインターナショナルハウスホテル又は同等クラスのホテル(2名1室)
- 食事:朝食3回、昼食0回、夕食1回



令和5年度研修参加者の感想

価値観や知識の幅が
広がり、これから先の人生の
選択肢が増えた。
(台北コース 学生)

文化の違いを見つけること
で改めて鹿児島の良さも知
ることができた。
(台北コース 社会人)

諦めない心と挑戦する力を
身につけることが出来た。
(香港コース 学生)

外に目を向けること、
直接体験することに重要性を
実感し、大きく成長する機会
となった。
(香港コース 社会人)

【研修に関する問い合わせ先】

かごしま青少年海外研修事業事務局 (HIS鹿児島営業所内)
〒892-0842 鹿児島県鹿児島市東千石町14-11 迫ビル
TEL: 050-1706-0461
E-mail: f-sales3@his-world.com
営業時間: 平日10:00~17:30 ※土日祝は休業
■旅行企画・実施 株式会社エイチ・アイ・エス 観光庁長官登録旅行業務 724号
総合旅行業務取扱管理者: 貞包 裕二郎 担当: 寺坂・原野

【事業に関する問い合わせ先】

鹿児島県庁
青少年男女共同参画課 青少年企画係
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL: 099-286-2554
FAX: 099-286-5541
E-mail: youth-k@pref.kagoshima.lg.jp



鹿児島県

事前研修の様子および使用資料(一部抜粋)

《台北コース》



さあ、鹿児島から世界へ！

令和6年度
かごしま青少年海外研修事業

台北コース 事前研修

かごしま青少年海外研修事業事務局
担当：寺坂 知史
電話番号：050-1706-0461
メールアドレス：f-sales3@his-world.com
(営業時間：10:00～12:00/13:00～17:00
土・日・夜・年末・年始休み)

台湾の政治体制、経済、対外関係、日本との関係

HIS

台湾の政治体制

1 政体 半民主制（国族統一、国権伸張、民主憲政）に基づく民主共和制、五權分立（行政、立法、監察、司法、考試）
2 総統 蔣経國（前總統：李登輝）
3 国会 立法院長：韓國瑜
4 行政機構 行政院長：卓榮泰、副院長：鄭麗文

経済

1 名目GDP 7,560 億米ドル（2023年、台湾行政院主計處）
2 人口1人当りの名目GDP 32,300米ドル（2023年、台湾行政院主計處）
3 主要産業（製造業） 電子部品、化学品、鉄鋼製品、機械
4 実質経済成長率 1.42%（2023年、台湾行政院主計處）
5 消費者物価上昇率 2.40%（2023年、台湾行政院主計處）
6 失業率 3.48%（2023年、台湾行政院主計處）
7 外貨準備高 5,706億米ドル（2023年末、台湾中央銀行）
8 貿易総額 7,838億米ドル（2023年、台湾財政部統計局）（輸出額：4,324、輸入額：3,514、収支：+809）
9 主要貿易相手国
(1) 輸出（2023年、台湾經濟部國際貿易局）：中国、米国、香港、日本、シンガポール
(2) 輸入（2023年、台湾經濟部國際貿易局）：中国、日本、米国、韓国、オーストラリア
10 主要貿易品目
(1) 輸出：電子部品、情報通信機器、金属製品、機械、プラスチック・ゴム
(2) 輸入：電子部品、農産物、機械、化学品、情報通信機器

鹿児島との関係

HIS

屏東県

台湾屏東県とは、令和6年（2024年）1月、「鹿児島県と屏東県との交流協定」（MOU）を締結しています。
MOU締結を契機に、令和6年度以降、屏東県と青少年、芸術・文化、観光、経済などの幅広い分野で交流が促進される見込みです。
屏東県の観光振興や観光客誘致の取組については、これまで台北を中心とする台湾北部地域で実施してきたところですが、今後は台湾南部地域まで広がる事が期待されます。

屏東県内の自治体とのつながり

自治体	関係	締結日
出水市	友好都市協定	2017年5月31日
民安町	友好都市協定	2018年4月27日
市川市	友好都市協定	2023年11月31日
鹿児島市	友好都市協定	2023年5月16日
鹿児島市	友好都市協定	2024年1月31日

その他

鹿児島県と台北を結ぶ航空線は台湾の航空会社「チャイナエアライン」が、2012年から運航。新型コロナウイルスの影響で2020年より運休していたが、2024年5月より運航再開。毎週火曜日にそれぞれ1便が運航。

鹿児島との関係

HIS

台湾への農産物輸出状況

1 産品の輸出実績
○農産物輸出の国別輸出実績（令和4年度）では、米国、香港、中国、EUに次ぐ5位（約22億円、全体の約8%）。
○品目別の輸出割合は、畜産物（牛肉のみ）が約1割、水産物（鮭魚等）が約1割を占めており、農産物（お茶やさつまいも等）と林産物（丸太等）はそれぞれ5%。
○令和4年度における農産物の輸出実績
○鹿児島県産（鹿児島県産）のさつまいもやきんかんフェア
○現地小売店（裕毛屋）での鹿児島県産（鹿児島県産）のさつまいもやきんかんフェア
○切羽レストラン等での体験プロジェクト

<品目別詳細>

品目	令和4年度			令和5年度		
	品名	輸出額 (千円)	輸出額 (千円)	品名	輸出額 (千円)	輸出額 (千円)
農産物	さつまいも	112.1	53%	9,092	▲3,233	24%
	きんかん	2.2	1%	3,652	616	120%
	鮭魚	247.7	114%	116,232	5,079	100%
	茶、ほろひしき茶	7.3	3%	2,035	991	176%
	農産加工品	-	-	1,548	-	-
小計	268.5	92%	132,059	2,910	102%	
畜産物	牛肉	315.2	137%	1,808,395	370,253	70%
	小計	315.2	137%	1,808,395	370,253	70%
水産物	鮭魚等	342.1	151%	586,135	▲221,582	72%
林産物	丸太（丸太等）	12,275	10%	156,822	▲68,847	69%
合計	-	-	2,683,711	8,153	10%	2,402,116

事前研修の様子および使用資料(一部抜粋)

《香港コース》



鹿児島県 青少年男女共同参画課 主催

さあ、鹿児島から世界へ！

令和6年度
かごしま青少年海外研修事業

香港コース 事前研修

かごしま青少年海外研修事業事務局
担当：守坂 聡史
TEL: 050-1706-0461
メールアドレス: f-sales3@his-world.com
(営業時間: 10:00~12:00/13:00~17:00
土・日・祝・年末・年始休み)

香港の政治体制、経済、対外関係、日本との関係 HIS

香港の政治体制

- 1 政体 中華人民共和国香港特別行政区 (Hong Kong Special Administrative Region ; SAR)
- 2 元首 習近平(中国共産党総書記)
- 3 議会 立法会 (香港基本法が定める立法機関)
- 4 行政機構 香港特別行政区政府のトップは、李家超 (John Lee) 行政長官
行政長官は香港特別行政区の首長

経済

- 1 名目GDP 3,691億米ドル (2021年)
- 2 一人当たりの名目GDP 49,795米ドル (2021年)
- 3 主要産業 金融業、不動産業、観光業、貿易業
- 4 実質経済成長率 6.3% (2021年)
- 5 消費者物価上昇率 1.6% (2021年)
- 6 失業率 5.2% (2021年)
- 7 貿易総額 輸入: 6,828億米ドル 輸出: 6,381億米ドル (2021年)
- 8 主要貿易相手国

(1) 輸出 (2021年): 中国 (59.5%)、米国 (6.2%)、台湾 (2.9%)、インド (2.7%)、日本 (2.4%)
(2) 輸入 (2021年): 中国 (45.8%)、台湾 (10.3%)、シンガポール (7.8%)、韓国 (6.1%)、日本 (5.1%)

10 主要輸出品目

(1) 輸出: 電気機械、医薬品及び化学製品、電子部品
(2) 輸入: 電気機械、医薬品及び化学製品、電子部品

※ 資料: 香港特別行政区政府、一環及び他国

鹿児島県との関係 HIS

鹿児島県と香港は、昭和55年度から毎年定期的に産業・貿易、観光、文化・スポーツ等の相互交流について協議する交流合議を開催しています。
その他に、商談会、香港駐在員(鹿児島県香港事務所)の設置、青少年交流等滞学交流が行われています。
また、香港観光局と鹿児島県観光振興局は姉妹提携を結び、相互の観光振興に協力するなど各分野にわたり、緊密な関係が築かれています。

鹿児島県と香港を結ぶ定期航路は香港の航空会社「香港航空」と「香港エクスプレス」が運航。香港航空は週3便(日・水・金)で運航。香港エクスプレスはコロナ後いち早く運航を再開しましたが、2024年7月より運休中。

鹿児島県との関係 HIS

香港への鹿児島県産農林水産物の輸出状況

令和5年度 鹿児島県産農林水産物の輸出額(品目別・地域別)

○ 部門別では、農産物が約148億円、農産物が約44億円、林産物が約37億円、水産物が約140億円となっています。
○ 主な輸出先国・地域では、米国 約170億円、香港 約48億円、中国 約38億円、台湾 約35億円、EU 約35億円、シンガポール 約14億円となっています。

品目	令和5年度	令和4年度	前年度比
農産物	148.0	140.0	104.3%
林産物	37.0	37.0	100.0%
水産物	140.0	140.0	100.0%
合計	325.0	317.0	102.5%

【品目別輸出額】

品目	令和5年度	令和4年度	前年度比
農産物	148.0	140.0	104.3%
林産物	37.0	37.0	100.0%
水産物	140.0	140.0	100.0%
合計	325.0	317.0	102.5%

【地域別輸出額】

地域	令和5年度	令和4年度	前年度比
米国	137.98	169.90	123.3%
香港	46.55	45.61	99.8%
中国	37.46	37.99	101.3%
台湾	26.84	35.39	132.0%
EU	28.44	34.99	123.3%
シンガポール	13.71	13.59	99.9%
タイ	6.95	8.25	118.7%
その他	29.50	20.97	71.1%
合計	327.45	366.69	112.2%

※ 輸出額が最も多い品目は、農産物(約148億円)です。農産物の中で最も多い品目は、水産物(約140億円)です。

※ 輸出額が最も多い地域は、米国(約138億円)です。米国の中で最も多い品目は、水産物(約140億円)です。

本研修の様子 《台北コース》



本研修の様子《香港コース》



事後研修の様子 《台北コース・香港コース合同開催》

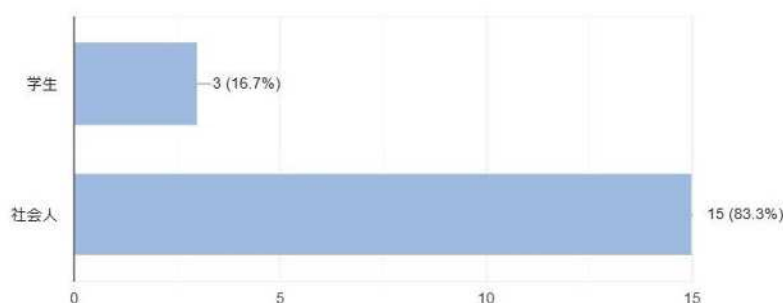


報告会・懇談会の様子《台北コース・香港コース合同開催》

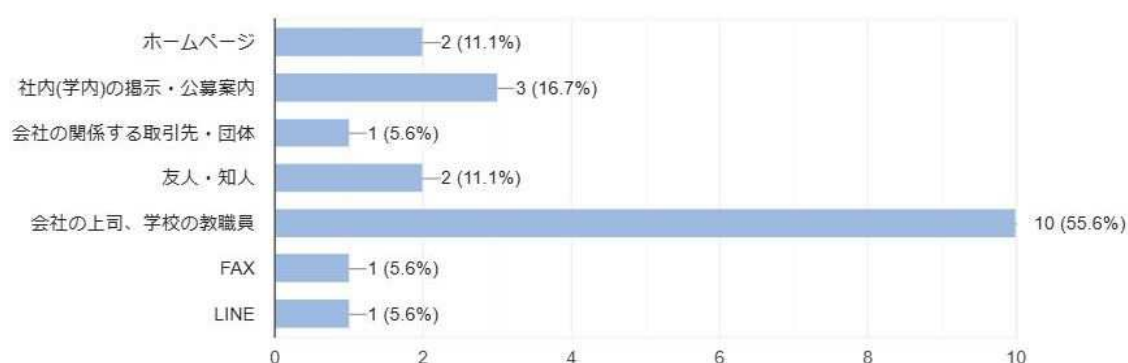


アンケート結果

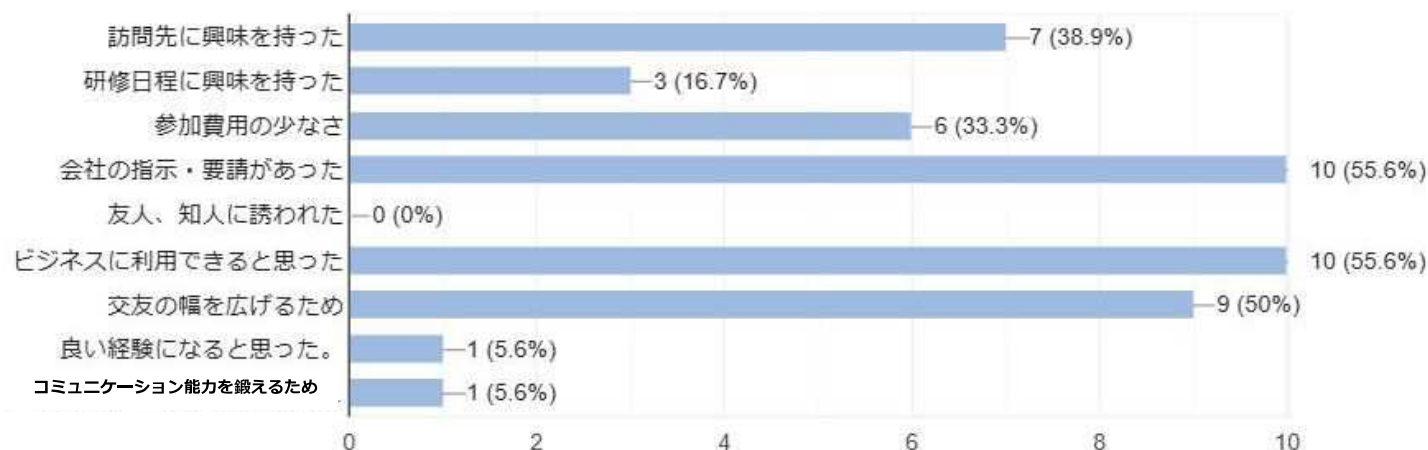
1. 職業



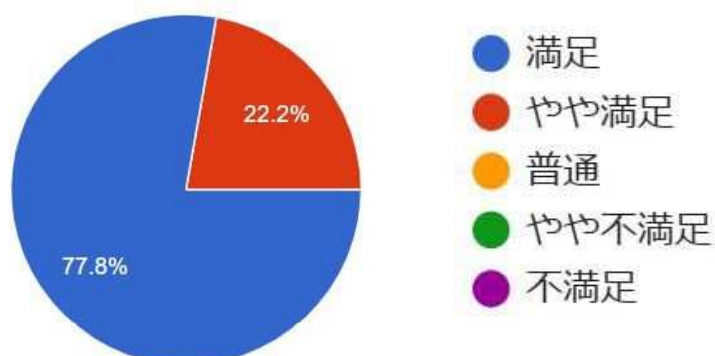
2. この研修をどのように知ったか ※複数回答可能項目



3. 参加動機について ※複数回答可能項目

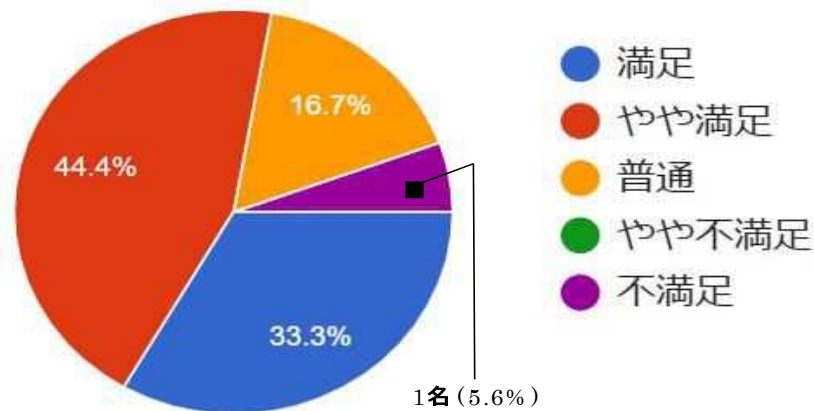


4. 研修全体の満足度



事前研修

5-1. 事前研修の満足度



5-2. 事前研修の内容について良かった点

〈現地についての講義〉

- ・ 全く台湾のことについて知らなかったが、基本的な所から教えていただいた点
- ・ 訪問先について詳しく教えていただいた点
- ・ 相手国の情報、また本研修中の目的を明確に持てた。
- ・ アドバイザーの話を聞くことで、研修のイメージをつかめた。
- ・ 現在の海外の状況やいろいろな情報を知ることができた点

〈アドバイザー講話〉

- ・ 以前の研修生にアドバイスをもらえた点
- ・ 過去に行った方の話を聞けること
- ・ 前回の参加者の話を伺えたこと
- ・ 前年度の参加者の方々のお話を聞く機会があり、よかつを聞いた。アポイントメントの取り方や、当時のスケジュールなど、実際の研修をより想定しやすくなった。
- ・ 過去に当事業へ参加した方々からお話することができたこと
- ・ 滞在中の動きやイメージを想像することができた。
- ・ 昨年参加した方からの話がありイメージしやすかった。
- ・ 前回の参加者の話を聞くことができ実際の体験談を聞くことができた点

〈グループワーク〉

- ・ アイスブレイクがあったこと
- ・ 現地を訪問するメンバーと事前に顔を合わせられた点は良かった。
- ・ 研修参加者とコミュニケーションを取ることができた点
- ・ 顔合わせの時若干のレクリエーションもあったので馴染みやすかった点

〈その他〉

- ・ 不安点をなくすことができた。
- ・ 参加できない方はオンラインで参加できていた点
- ・ 本研修の主旨を短い時間にまとめていたこと。内容が伝わりやすかった。また、質疑応答の中で、研修生に対して「本研修が遊びではなく、報告を求められる研修である」ということを伝えられていたので、次年度も引き続き伝えてほしい。

5-3. 事前研修の内容について不満に感じた点、改善点

〈研修生同士の交流〉

- ・事前研修を増やして欲しかった。もっと研修メンバーと交流できる時間が欲しかった。
- ・不満ではなかったが、事前研修時にグループ内の仲を深めることが出来なかった。
- ・もう少しグループでの打ち解ける時間がほしかった。
- ・アイスブレイクがもう少し必要だと思った。一方的な講義からはじまり、その後いきなりグループで議論してください。だと、他のグループとも話せないの、香港グループ全体での和気あいあい感をつくれなかった。例えば、HISさんも県職員の皆さんも一緒に参加する名刺交換会とか講義の区切りがつくたびに、隣の人3人くらいと2分3分くらい振り返りの時間を与えたり強制的にいろんな人と話す場づくりが必要だと感じました。

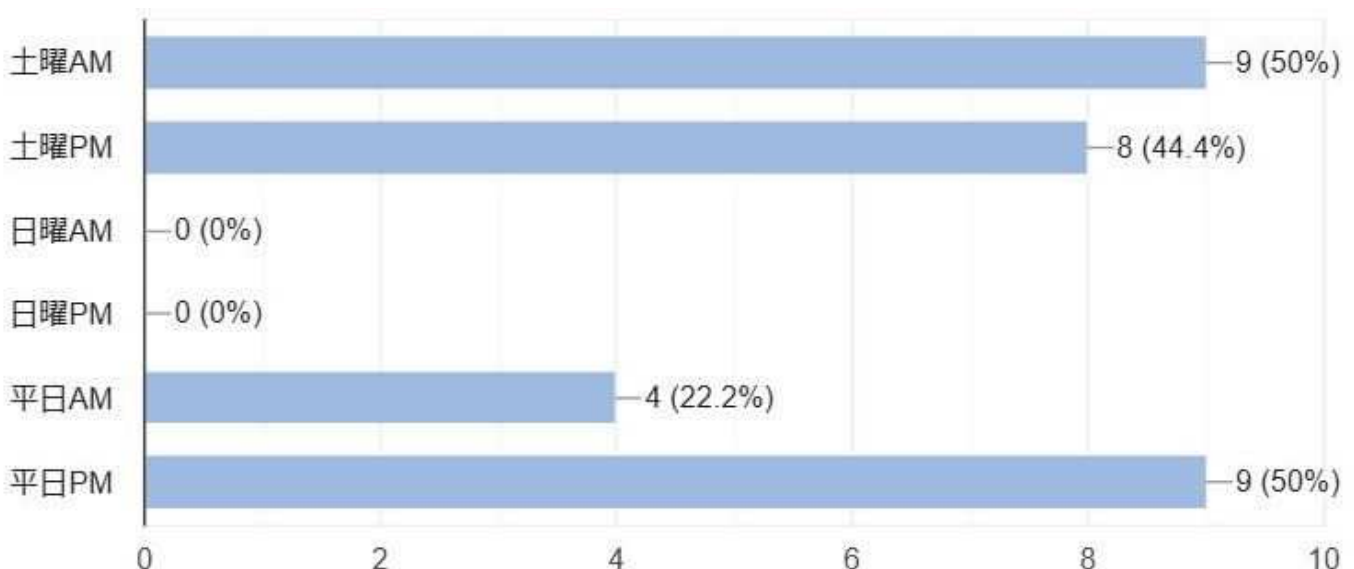
〈研修先の選定〉

- ・グループ研修先が希望通りにならなかった点。人によっては学びたい業種でない可能性があると感じた。前回のようにいくつかの候補先から選んで決める方法がいいように感じた。
- ・グループ研修の訪問先について、事前研修の時点で知ることができたら不安がなくなる。
- ・個別研修の候補先がもう少し早い段階で決定すれば事前準備ができると感じた。
- ・グループ研修先の選定をもっと密に打ち合わせしたかった。
- ・事前研修でグループディスカッションして決めた企業に訪問できなかったの、あれはなんだったんだ？ってなりました。無理なのであれば最初から候補をあげてもらいその中から選択したかった。拍子抜け感否めない。

〈その他〉

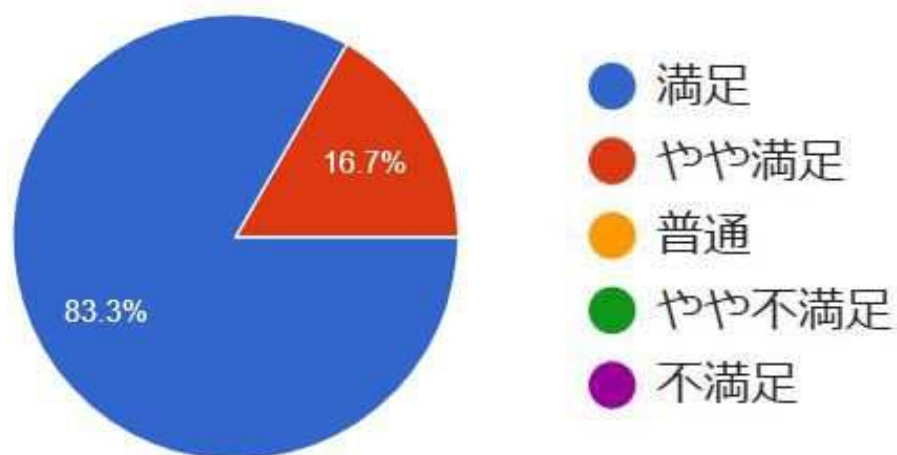
- ・HIS様の回答に時間がかかった
- ・会社推薦で参加する人はどうしても会社の利益のために学ぼう（新規取引先の発掘・売上拡大・市場調査）と考えるので、目的である「国際的視野を持つリーダーの育成」について、参加者個人がどんな風に変化したらor気づきを得たら達成できたと言えるのか、ゴールを事前研修で提示できたら、本研修がより良くなると思いました。会社推薦で来ていることに理解はありますが、会社に縛られてほしくないと思います。

5-4. 希望する開催日時について ※複数回答可能項目



本研修

6-1. 本研修の満足度



6-2. 本研修の内容について良かった点

〈現地若手企業人との意見交換会〉

- ・ 現地の方と直接お話し出来て現地の雰囲気を感じれたこと
- ・ 初日に現地で活躍されている方との意見交換会があったことはすごくよかったと思います。参加者の緊張がほぐれたし、次の日に向けてのモチベーション向上にもなりました。
- ・ 他業種の方と交流が深まった。

〈企業訪問〉

- ・ グループ研修では訪問先として良い企業を選定いただき有益であった。
- ・ 香港厨水口氏の話が最高に良かった。可能なら次年度も水口氏への訪問は続けてほしい。

〈個人研修〉

- ・ 個人研修があったこと。
- ・ 個人研修もあり、自由度があること
- ・ 自分の好きな分野について調べられる個人研修が楽しかった。
- ・ 1日乗車券が配布されたので、広範囲の市場を調査できた。
- ・ アポイントメントを取ることは大変なこともあったが、自分で動いてアポイントメントを取り、各訪問先で聞きたいことをまとめたりと、個人研修でより今回の研修を深めることが出来たと思う。また、少しではあるが、観光できる時間があったこと。研修中時間があった方々で九分の方へ行ったりと、台湾を楽しむことができる時間があったことはとてもよかったと思う。
- ・ 事前研修では中国入りを止められていたものの、最終的には行くことができ、感謝しております。

次ページへ続く

〈添乗〉

- ・バス移動が多く、スムーズに移動ができたので良かった。また、バスガイドがお話をしてくれて移動の時間も有意義だった。
- ・海外は久しぶりだったため不安であったが、ガイドや研修のリーダーが支えてくれたので安心して研修できた。

〈その他〉

- ・現地の言語ができなくてもスムーズにできた。
- ・現地若手事業人との交流、グループ研修、個人研修と研修の順番が良かった。
- ・個人研修と個別(グループ)研修があった点
- ・サポートが手厚く安心して研修に臨めた。
- ・自由時間に観光ツアーに参加し、研修生と交流を深められたことは良かった。
普段海外に行かない、行く機会もないので見るもの全てが新鮮でとてもフレッシュな体験ができた。視野が広がる思いだった。普段会社以外の人と交流もないので、交友が広がる点もすごく良かった。
- ・現地企業の方との懇親会、グループ研修とご準備頂いた研修内容で実際の台湾現況についても理解することが出来た。

6-3. 事前研修の内容について不満に感じた点、改善点

〈若手企業人との意見交換会〉

- ・現地企業人との交流会は立食パーティでも良かったかもしれない。隣の人以外と喋れなかった。
- ・意見交換について、現地の経営者の方が多数いれば良かった。

〈企業訪問〉

- ・グループ研修がつまらなかった。
- ・なだ万様にもてなしていただいたが、リアルな声を聞くことができなかったなので、話ができる状態のコーディネーターはして欲しかった。
- ・希望していなかった研修地について、どういうモチベで挑めば良いか結構難しかった。もう少し配慮して欲しい。フォローが足りない印象。

〈個人研修〉

- ・個人研修の際の訪問先選定について社会人なら取引先含めて訪問先選定のツテがあるが学生の方々には難しい部分もあるのではないかなと思った。

〈宿泊施設〉

- ・予算の都合上厳しいとは思いますが、2人部屋だったこと

〈添乗〉

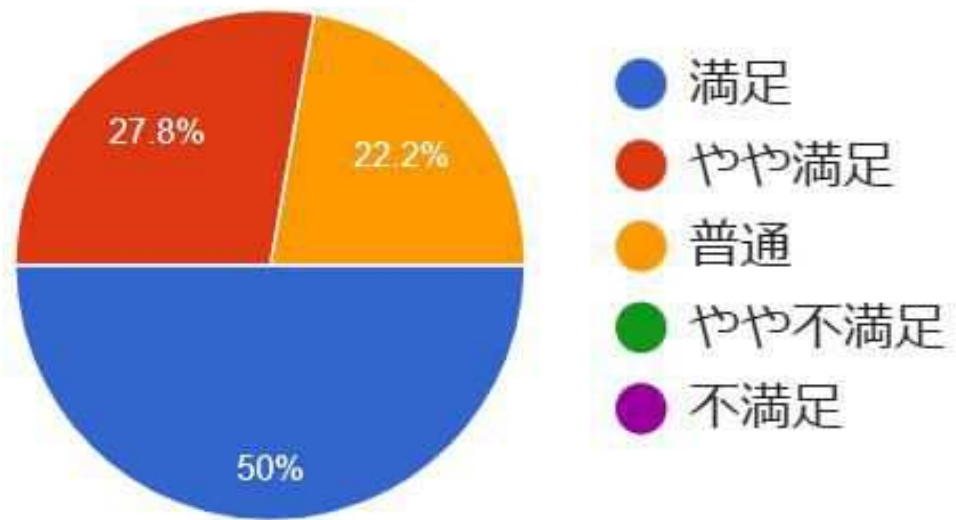
- ・今回の研修においては添乗員は特に必要なかったのでは思った。

〈その他〉

- ・研修が始まってからは、先輩方と仲良くさせてもらったので不安はなかったのですが、研修前は、学生1人であったので、研修が始まるのが少し不安でした。可能であれば、学生は2人いると心強いなと思いました。
- ・団長の役割が少ない。もっとこき使ってください。
- ・グループでの交流が研修までに少なかったため不安が少しあった。

事後研修

7-1. 事後研修の満足度



7-2. 事後研修の内容について良かった点

〈交流〉

- ・他のコースの話を聞けること
- ・他のコースの内容を知ることができた
- ・もうひとつの研修先へ行った方々の話も聞いて面白かった。
- ・台北コースと香港コース合同だった点
- ・他の方々がどのような研修をしたのか理解することが出来た。
- ・みなさんで、どんな事があったか思い出話をできたのでとても楽しかった。
- ・それぞれのコース、個人研修での学びを聞いたこと
- ・台湾の研修者が何を学んだのか、ザックリではあったがしれて良かった。

〈アドバイザー講話〉

- ・報告会に向けてすべき事が分かった。
- ・前年度の方々がいらっしゃって、報告会の内容や、発表の仕方など事前に聞く機会があったこと
- ・発表の準備やスライドの作成がしやすくなった。
- ・報告会の流れやこういった資料を作成すれば良いのか理解できたこと

〈グループワーク〉

- ・報告会の打ち合わせができた。
- ・振り返りを研修メンバーと共にできる点
- ・グループで研修の情報共有をできた。
- ・資料作成に関してグループ内で事前に大まかな確認ができた点はよかった。

〈開催時期〉

- ・ある程度間が開かないうちに開催があったこと

7-3. 事後研修の内容について不満に感じた点

〈アドバイザー講話〉

- ・前年参加者の報告資料の紹介については、事前研修で聞いた内容をそのまま再度聞くことになったので、事後研修では資料の共有のみで充分だったのではと感じた。

〈グループワーク〉

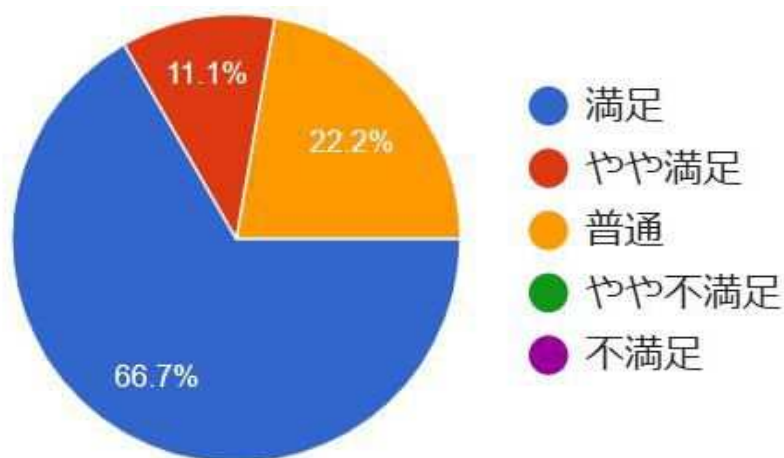
- ・グループ研修の内容をまとめるのであれば、パソコンが欲しかったです。
- ・集まる時間が、長かったと感じた。チームによっては、すぐに話し合いが終わったチームもいた。

〈その他〉

- ・日程がもう少し早ければ助かります。
- ・事後研修にこないと報告会に参加できない可能性が高いこと
- ・時間が少し長いとも感じた。

報告会

8-1. 報告会の満足度



8-2. 報告会の内容について良かった点

〈成果報告〉

- ・色んな視点での話を聞くことができた。
- ・人前で発表する機会をいただき、評価や質問をしていただきとても感謝しています。
- ・5～10分程でも何を学んだのか、どんな国なのか分かった。
- ・もうひとつの研修先へ行った方々の話も聞けて面白かった。
- ・台湾組や他のグループの報告を受けられたためになった。
- ・全員がしっかりと発表してくれたこと。
- ・報告会は他の人の発表を聞くことができ、レベルが高くて驚いた。
- ・一人一回は発表の場がある点
- ・香港、台湾と両コースの報告を聞くことができたこと
- ・他のグループの研修内容についても理解することが出来た点
- ・台北コースだけでなく、香港コースの発表を聞くことが出来たこと。香港ではどのようなことが行われたのか聞くことができ、学びになった。

〈交流〉

- ・色んな方と交流がもてた。
- ・様々な業種の方と交流できた。
- ・懇親会で交流を深められたこと
- ・懇親会も会話が弾み良かった。
- ・報告会后に懇親会があったことにより、その際に疑問に思ったことや興味を持ったことに関して、発表されていた方に直接伺う機会があり、とてもよかった。
- ・懇親会で色んな人達とお話できて良かったです。緊張がとけたためか、いつも以上に楽しくお話ができたように感じました。

〈研修生の上席の参加〉

- ・上席の方も数名参加されていた点

〈その他〉

- ・全体的に良かったと思う。
- ・ほどよい緊張感のある報告会で良かった。

8-3. 報告会の内容について不満に感じた点

〈成果報告〉

- ・プレゼンの操作は自分でやった方がいいように感じた。都度、スライドをかえる指示するのが面倒でした。
- ・個人報告に係る時間を5分ではなく10分にしてもよかったのではないかな。
- ・発表者によって作りこみに差が出てしまったこと。経験したこと、見聞きしたことをそのまま伝えるのではなく、そこで何の気づきがあったのか「国際的な視野」は得られたのかまで発表してくれたらもっと素敵な報告になると考えます。
- ・個人報告の内容が皆さん濃かった為、予定の報告時間内で収まっている方があまりいなかった。
- ・質問があまりなかった為、予定の時間内に収まったが報告者の人数を減らすか、時間厳守させるか。
- ・香港コースのグループ発表の内容が薄かったように感じた。
- ・様々な人の質問がもっとあれば各報告者の内容や聞いている方の理解がより深まったのではないかな。

〈会次第〉

- ・長かった。
- ・時間が少し長い気がした。

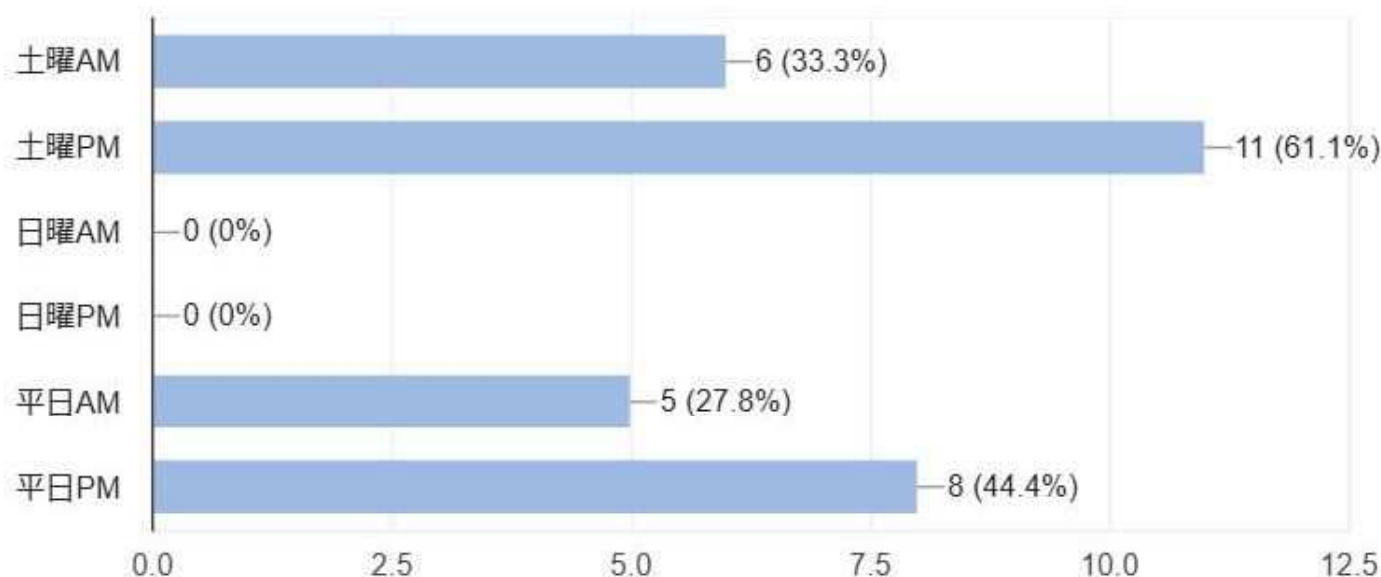
〈研修生の上席の参加〉

- ・上長・上席の方が来られていない会社が多かった。

〈その他〉

- ・報告会のアンケートがあれば良かった。上席者の方も含め。

8-4. 希望する開催日時について ※複数回答可能項目



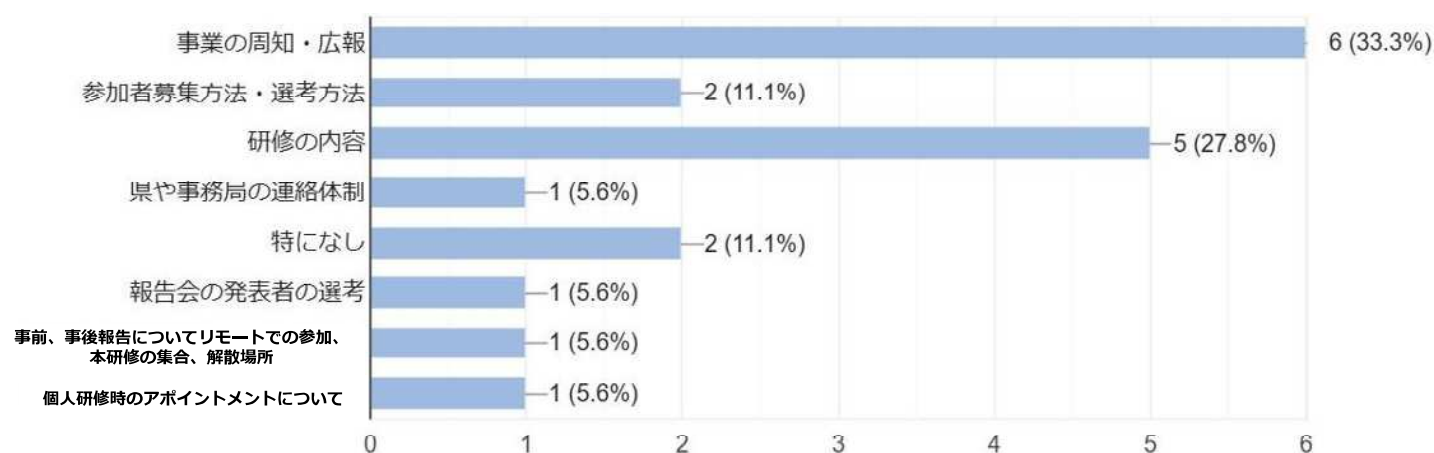
参加者募集や申込みについて

9. ご意見・ご要望

- ・今までで良いと思う。
- ・ネット申し込みの方が楽で良かったです。
- ・社会人に関しては会社の協力もいるので今まで通り会社へのオファーでいいと思う。
- ・学生の方も街頭インタビューを行うなどアグレッシブな方もいたのでぜひ募集してほしい。
- ・予算の関係もあるかと思いますが、非常に有意義な研修であったため、定員がもう少し増やせばいいと思います。
- ・現状の通りでいいと思います。過度な広告はせずに、経験者がいろんなところで本研修の魅力を話し、次の希望者を連れてくるのが望ましいと考えます。
- ・個人研修先へのアポイントメントは自分で行うことは申し込み時に知っておきたかった。
- ・参加費の支払いが期限が短かったように感じた。

今後について

10-1. 改善した方が良いと思うところ ※複数回答可



10-2. 『10-1』にてお答えいただいた、具体的な内容

〈事業の周知・広報〉

- ・会社から研修の話が来ないと難しいと感じた。
- ・研修の知名度を上げることが大事だと思いました。
- ・もっと以前までの研修で行ったことを知ることができたら参加希望者も増えると思う。
- ・SNSを使った広報活動をしてほしい。
- ・周囲でも知らない人が多かった。
- ・広報は費用がかからないよう各メディアに要所要所で取材に来ていただきたい。特に報告会の様子は放映してもいいのでは。マスメディアの巻き込みが難しかったらYoutube配信などなど。

〈参加者募集方法・選考方法〉

- ・学生は1人にせず、せめて2人にして欲しい。
- ・（応募用紙の）文字数制限がない方が書きやすいように感じました。

〈研修内容〉

- ・グループ研修がいない。個人研修を二日間すれば良いと思う。
- ・目的意識を高く持ち、それをクリアできる研修内容にしたならもっと良くなると思う。
- ・個人研修の研修先をあらかじめ用意していてもいいのでは無いかと思います。
- ・参加募集の際に、個人研修があるということは知っていたが、そのアポイントメントを自身で取る必要があるということは、事前に分かる状態にしていると良いかと思った。今回、事前研修の際に、自身でアポイントメントを取る必要があると分かり、事前研修後に動き出したためアポイントメントを取ることに、計画を立て直すことに時間がかかってしまった。また、事前に自身でアポイントメントを取る必要があると分かっていると、募集の際のテーマ設定の際から、現実性を持ったテーマの設定をすることが出来ると思った。

〈団長の役割〉

- ・目的に対して、県としてどのような結果を求めているのか、事前に団長と話を詰めていただきたい。そしたら団長から参加者へアクションがしやすくなると思います。団長への負荷を増やしましょう。

〈事務局の連絡体制〉

- ・各研修の日程や時間についてはLINEでの配信を行ってもらえると助かると感じた。

〈報告会発表者の選考〉

- ・今回は各班の自由選択だったので、レポート内容などを勘案して県からの選抜一名などでも良かったのではないかなと。

〈その他〉

- ・事前、事後研修のために前泊されてる方がいたのでリモートではいけないのか。本研修の集合、解散場所が自宅を通り過ぎてしまった。行程の途中であった自宅からの途中参加・解散ではいけなかったのか。

その他自由意見

- ・このような研修の機会をいただき、また参加そして報告会までにあたり、ご準備をしていただき、本当にありがとうございました。今回の研修を無事終了することが出来たのも、事務局や青少年男女共同参画課の方々など多くの方々のご協力のおかげです。今回の研修成果を今後に生かすことが出来るよう、これからの業務に努めます。ありがとうございました。
- ・本研修に関わることができて本当にうれしく思います。次年度以降もこの事業が長く続いていくことを祈念申し上げます。ありがとうございました。
- ・不満点はあったものの、全体的にすごく実りのある研修だったのでとても感謝しています。今後より良い研修にできるよう私も協力させていただきたいので、来期の開催の際、是非ご協力させていただければと思います。本当にありがとうございました。